



2010年1月29日提出

各 位

会社名 株式会社東芝
 東京都港区芝浦1-1-1
 代表者名 代表執行役社長 佐々木 則夫
 (コード番号: 6502 東、大、名)
 問合せ先 広報室長 長谷川 直人
 Tel 03-3457-2100

連結業績予想の修正に関するお知らせ

2009年度通期の連結業績予想について、前回予想(2009年5月8日公表)を修正し、次のとおりといたします。

記

1. 修正の内容(連結)

	売上高	営業損益	継続事業 税引前損益	当期純損益
今回修正(A)	64,000億円	1,000億円	0億円	△500億円
前回予想(B)	68,000億円	1,000億円	0億円	△500億円
変動幅(A-B)	△4,000億円	—	—	—
増減率	△5.9%	—	—	—
前期実績	66,545億円	△2,502億円	△2,793億円	△3,436億円

(参考) セグメント情報

単位: 億円

セグメント	売上高			営業損益		
	今回修正	前回予想	変動幅	今回修正	前回予想	変動幅
デジタルプロダクツ	23,800	24,500	△700	50	250	△200
電子デバイス	13,000	13,500	△500	△300	△600	+300
社会インフラ	23,300	25,700	△2,400	1,400	1,500	△100
家庭電器	5,800	6,800	△1,000	△100	0	△100
その他	3,000	3,200	△200	△50	△150	+100
セグメント間消去等	△4,900	△5,700		0	0	
合計	64,000	68,000	△4,000	1,000	1,000	—

2. 理由

売上高は、当初の予想以上に長引く世界的な景気低迷の影響を受け全セグメントで前回予想よりも減少する見通しであり、当事業年度通期の業績予想につきましては、全社の売上を見直し、上記のとおり修正いたします。

全社の損益については当事業年度通期の見通しを変更しておりませんが、NAND型フラッシュメモリの市場における需要の増加と価格の安定により電子デバイス部門が前回予想より大きく改善することが見込まれるものの、長引く世界的な景気の低迷により電子デバイス部門以外のセグメントは前回予想より減益が見込まれるため、当事業年度通期の業績予想のセグメント別の内訳を上記のとおり変更しております。

以 上

* (注意事項)

本文書に記載されている事項には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく当社の予測です。実際の業績は、多様なリスクや不確実性により、当社の予測とは大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。なお、リスクのうち主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

- ・ 国内外における訴訟その他争訟
- ・ 当社グループが他社と提携して推進する事業の成否
- ・ 新規事業、研究開発の成否
- ・ 国内外の政治・経済の状況、各種規制等
- ・ 地震、台風等の大規模災害
- ・ 主要市場における製品需給の急激な変動及び価格競争の激化
- ・ 生産設備等に対する多額の資本的支出と市場の急激な変動
- ・ 金利為替等の金融市場環境の変化